

2025年度 学校評価報告書

対象期間： 2024年4月1日 ～ 2025年 3月31日

学校法人 センチュリー・カレッジ
専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー



I. 2025年度 学校関係者評価委員会 開催記録・議事録

1. 日時及び場所：

- (1) 日時：2025年7月10日（木） 18:30～20:00
- (2) 場所：専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー 第1教室

2. 出席者

(1) 学校関係者評価委員

松崎 充意 （一般財団法人石川県予防医学協会 理事長）
酒井 安代 （株式会社シェーネアルト 看護師）
小畑 貴司 （保護者）
長谷田 敦志 （公立南砺中央病院 リハビリテーション室 主任）
田中 茉美 （医療法人社団博友会 金沢西病院 作業療法士）
野倉 克利 （医療法人積仁会 岡部病院 地域医療部 副部長）

(2) 本校教職員（オブザーバー）

狩山 信生 （専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー 校長）
種本 美雪 （専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー 副校長 兼 作業療法学科 学科長）
曾山 薫 （専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー 理学療法学科 学科長）
山本 達也 （専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー 事務局長）

3. 欠席者

なし

[敬称略]

4. 会議次第

- (1) 開会
- (2) 委員長挨拶
- (3) 2024年度 自己点検・評価 報告
- (4) 2024年度 決算報告
- (5) 各委員会の2024年度 活動報告と2025年度 重点目標および取組み
- (6) 学校長挨拶
- (7) 閉会

5. 配布資料（PDF）

- ・ [資料 1] 学校関係者評価・自己点検・評価結果
- ・ [資料 2] 学校概要
- ・ [資料 3] 2024年度 決算報告書
- ・ [資料 4] 各委員会の重点目標及び施策

6. 議事録

(1) 学校関係者評価委員会 委員長挨拶

(2) 2024年度 自己点検・評価 報告（資料1／校長 狩山、理学療法学科 学科長 曾山）

- ・ 学校関係者評価委員のご意見等に対する本校回答および対応状況について説明を行った。
- ・ 自己点検・評価における「共通的評価基準モデル」の採用および学校関係者評価シートの書式変更について報告を行った。

<授業評価結果のフィードバックについて>

小畑委員) 学内教員に関する評価結果を伝えることは比較的容易だと思いますが、外部から非常勤で来ていただいている講師に対して、特にネガティブな評価を伝えることは困難ではないでしょうか。そういった点について、何か工夫やお考えはございますか。

種本) 従来の授業評価アンケートでは、設問内容に曖昧さや分かりづらさが見受けられ、講師に対する学生の意見がうまく伝わらないという課題がありました。そこで、今年度前期より、一問一答形式の明確な設問に見直した新しい様式に変更したものを導入し、現在講義評価を進めております。
また、臨床実習用の講義評価を導入し、学生の声を指導者にフィードバックできるよう努めてまいりたいと考えています。

<学生募集活動について>

・社会人入学者について

田中委員) 入試の面接時にも確認されると思いますが、社会人入学者に対して、入学後に「なぜ本校を選んだのか」を改めて問うアンケートや面談を実施することで、高校生以外の層へのアプローチ方法や募集のヒントが得られるのではないのでしょうか。

種本) 現在、入試課を中心として入学後に全学生を対象としたアンケートを実施しておりますが、ご指摘の通り、社会人入学者の回答に着目した分析はまだ行っておりません。今後は社会人の声を抽出し、効果的なアプローチ方法の検討を進めたいと考えております。

・スポーツトレーナーコースについて

長谷田委員) 「スポーツトレーナーコース」はどのような位置づけで、どのような内容を学ばれていくのでしょうか。シラバスへの掲載や資格取得などについても教えてください。

狩山) 本コースは、理学療法学科および作業療法学科の学生の中で、将来的にスポーツトレーナーとしての活躍を目指す学生を対象にした独自のカリキュラムとして位置づけております。正式な科目としてシラバスには掲載しておりませんが、課外活動として、サークル的な枠組みの中で実技指導を行っていきます。
内容としては、スポーツ現場における理論的・実践的な技術、一次救命をはじめとする基礎的な内容までを幅広くカバーし、現場対応力の育成に力を入れていきます。今後は、関連する民間資格の取得を視野に入れつつ、本校独自の認定制度の整備にも取り組んでいきたいと考えております。

<今後の学生確保について>

長谷田委員) 近隣の私立養成校では定員割れが続いており、業界全体として厳しい状況が続いていることを実感しています。将来的な展望をお持ちかと思いますが、今後、学生定員の見直しや、いわゆるダウンサイジングを検討される可能性はあるのでしょうか。

狩山) 現時点では、学生定員の削減は考えておりません。

小畑委員) 少子化が進む中、外国人材が国家資格の取得を目指す養成校もあるかと思います。御校でも、たとえば東南アジアの若年層などへ募集対象を広げることを視野に入れるお考えはございますか。

狩山) 介護分野においては、外国人材の活用が進んでおり、リハビリテーション分野においても、同様の展開は可能だと考えています。日本のリハビリ技術は国際的にも高評価を受けており、東南アジアの若者にとっても魅力的な進路になり得ます。国際的な連携を通じて、相互に学び合える関係を築けると素晴らしいと思います。

小畑委員) 金沢は東京や大阪に比べて物価が抑えられており、生活しやすい環境が整っていると思います。こうした地域環境に立地していること自体も大きな魅力であり、学校としての価値のひとつではないでしょうか。
また、卒業生が勤務している現場でも、外国人スタッフが活躍されていると思いますが、具体的にどのような職種に就かれている方が多いのでしょうか。

田中委員) 看護助手や受付業務を担当されている方です。特に中国語が話せる方は、医療現場でも非常に重宝されています。

種本) 新潟県のリハビリテーション養成校では中国からの留学生を受入れ、実際の対面授業を録画して、オンデマンドで繰り返し視聴できる体制を整えて学習支援を行っている聞いています。

酒井委員) 私の施設でも、外国籍の介護スタッフが多数在籍しており、アルバイトで資金を貯めながら養成校に通い、資格を取得された方が沢山いらっしゃいます。皆さん非常に真面目でとても優しい人柄の方が多いので、今後はリハビリ分野にもそのような人材が増えるといいですね。

<分煙・禁煙の取り組みについて>

小畑委員) 分煙・禁煙の取り組みは、教育現場において非常に重要なテーマだと考えております。金沢市内には、分煙・禁煙に関する講義を行っておられる医師の方がいらっしゃいますので、ご希望があれば講師としてお招きすることも可能です。ぜひご検討いただければと思います。

(3) 2024年度 決算報告 (資料3/事務局長 山本)

(4) 各委員会の2024年度 活動報告と2025年度 重点目標および取組み (資料4/副校長兼作業療法学科 学科長 種本)

- ・教職員全員を構成メンバーとし、7つの委員会を設置して学生支援および教育環境の整備等の活動を行っており、資料に基づき活動内容の補足的な説明を行った。

<就職活動の状況について>

長谷田委員) 今年度の就職活動の進捗状況はいかがでしょうか。

曾山) 北陸三県の求人状況は回復傾向にあります。現在は7月中に公務員試験が終了し、今年度は昨年に比べて公務員の内定を多くいただいている状況です。
今後は個人病院の受験期間に入りますが、近隣の病床数の多い大規模な病院については、7月中、遅くとも8月上旬には採用活動を終える見込みです。求人数の増加に加え、学生も積極的に挑戦している状況です。

小畑委員) 災害の影響が就職活動に及んだ部分はありましたか。

曾山) 人手不足という背景はありますが、人口減少の影響で増員が難しい現状もあるようです。七尾市までは求人が届いていますが、奥能登地域からの求人は現在のところはない状況にあります。

(5) 学校長挨拶

以上

(記録：橋本尚子)

Ⅱ.学校関係者評価

評 価： 適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

【評価】	【意 見】
1 教育理念・目標	
3.7	・「建学の理念」が在校生と入学希望者に伝えられるエビデンスが豊富である。特に、入学希望者に十分伝えられることが重要。 ・パンフレットやホームページ等で適切に周知されていると思います。ただ、自己点検・評価表を拝見すると、教育理念や育成人材像などについてもう少し整理すべきとの記載もあるので、皆が理解しやすいよう表現方法を再協議されたら良いかと思います。 ・教育理念や目標についてはわかりやすくして頂ければ良いかと思います。ホームページが見やすくなってとても良いと思います。 ・ホームページがリニューアルされたようで教育理念・目標などは明文化され周知できるようになっていると思います。 ・特色のある教育を実践して頂ければと思います。
2 学校運営	
3.0	・今年度から評価項目が細分化されたことで、学校の強みと改善点が一層明確になったと感じています。評価点の低い部分を改善することで、学校全体の教育力・組織力はさらに向上すると思います。 ・労使が運営方針を共有することは重要であるので、教職員に周知することを改善していただきたい。 ・開設して20年以上経過しており、施設や設備の老朽化は致し方ない部分もあるかと思います。必要な箇所について修繕・修理を行なって頂ければと思います。
3 教育活動	
3.5	・「質保証」は重要であり、改善策を検討しては？ ・教育活動については毎年毎年向上されていると思います。これは教職員の皆様の日々の努力の賜物であり、その成果が国家試験合格率の上昇にも繋がっていると認識しております。 ・就職は昔のように病院だけではなく、老人施設や訪問リハなど、色々な方面に広がってきていると聞きました。授業の中でも、もう少し施設のリハや、在宅で生活をしている老人の方達のADL向上に対してのリハについての授業時間もあればいいなと思います。 ・授業評価結果はどのように公表・活用されているのでしょうか。
4 学修成果・教育成果	
3.7	・国家試験の合格率と就職率は、教職員の皆様の努力で目標達成に至ったかと思います。引き続きのご支援の程をよろしくお願いします。 ・国家試験合格率、就職率とも低下しないように今後もがんばっていただきたいです。 ・国家試験合格率が全国平均を上回っており、修学年限3年制の体制のなかで計画的に模試対策ができているように思います。 ・教職員の皆様が日々、学修成果・教育成果の向上に尽力されていること、承知しております。特に、1・2年次から実施されている課題選定や模擬試験等は学生の知識定着に大きく貢献していると思います。これらの取り組みは、学生の自信や自己肯定感の向上、ひいては国家試験合格率アップに寄与しているものと評価いたします。
5 学生支援	
3.5	・学生の皆さんが学習面、生活面、精神面、キャリア面で直面する課題に対し、きめ細やかな支援が実施されているように思います。今年度、作業療法学科で退学者・留年者が出なかったことは、その支援の成果と高く評価できます。引き続き、学生一人ひとりに寄り添った支援をよろしくお願いします。 ・実習施設は県外も多く、実習時にかかる費用を入学説明会の時に説明は受けていましたが、かなりの額で心配していました。先生の配慮だと思いますが、自宅からなるべく通いやすいように1人1人に対して考えて下さったように今回感じています。とてもありがたかったです。 ・サークルや学外へのボランティアなどの活動を継続して行なっていただきたいと思います。 ・前年度は退学者・留年者がなかったようで、引き続き学生の情報共有や面談の機会を作ってサポートをお願いします。 ・退学率低減への具体的な取り組みは、どのようにされているか？

	・ 卒後への対応につきましては、難しい部分は多々あるかと思いますが学校側との連携をより深めて対応していきたいと思います。
6 教育環境	
3.3	・ 図書室が新しくできて、よくなったとの言葉が聞かれています。 ・ 教育上必要な施設、図書、備品は整備されていると認識しています。しかしながら、整理・整頓・清掃のチェックや危機管理マニュアルなど、見直しが必要な点もあるようですので、対応をお願いします。 ・ 分煙・禁煙の掲示を徹底するだけでなく、卒業生が多数医療機関へ就職することを踏まえ、禁煙や健康への意識向上を促すための掲示物にも、さらなる工夫を凝らしていただけると幸いです。 ・ 実習地の確保は難しいかと思いますが、引き続いてのご支援の程をよろしくお願いします。
7 学生の受入れ募集	
3.8	・ 学生募集活動は適切に行われ、パンフレットやホームページを通じて、分かりやすく多様な情報が発信されています。 ・ 年々、入学者数も減少していますが、退学者数も気になります。 ・ 若年人口の減少に伴う、学生の確保は更に難しくなっている状況かと思いますが、継続して学生確保に取り組んで頂ければと思います。 ・ 入学予定者への学習指導・支援は、専門的な学びに備える上で非常に重要です。これは、入学者の目的意識を育む良い機会にもなっていると思います。
8 教育の内部質保証システム	
3.5	・ 昨今、学生指導が難しい時代になってきていますが、ハラスメント防止規定などを明確化して指導に取り組んで頂きたいと思います。 ・ 個人情報保護は職員一人ひとりの意識が重要です。担当部署だけでなく、改善策にも記載されているように、全職員がオンデマンド形式でも良いので定期的に研修を受講されたら良いかと思います。 ・ 個人情報の保護について、具体的な対応は？ ・ 自己点検・評価表を拝見すると、改革・改善点について運営全体レベルでの統括が不十分との記載があります。各部署の方向性や歩調を合わせるためにも統括し、学校全体でPDCAを回していただければと存じます。
9 財務	
3.5	・ 予算・収支計画も妥当なものとなっており、中期計画も策定されています。また、財務情報なども適切に公開されています。今後は18歳人口が減少する中で、学生獲得競争がより激化していくと思われます。財務という視点でも安定的な入学者確保は、学校が持続的に発展していくための源でもあります。引き続き、学校一丸となって創意工夫を凝らし、学生確保に努めていただければと思います。 ・ 少子化による入学希望者減少に対する対策は考えられているか？ ・ 支出削減策は考案しているか？
10 社会貢献・地域貢献	
3.5	・ ボランティア活動は、学生の皆さんの成長に大きく貢献します。活動を通して、人を思いやる心が育まれ、コミュニケーション能力や協調性といった社会人として不可欠な基礎力も身につきます。また、自身の貢献を実感することで自己肯定感も高まると思います。学生が積極的にボランティアに参加できるよう、学校として支援をお願いいたします。 ・ 学外への活動は学生だけでなく学校側へも良い影響を与える活動かと思います。 ・ ボランティア活動が多く行われているようで、継続していけるような体制の構築をお願いします。 ・ 是非、老人施設にもボランティアに入っただけならうれしいです。集団リハビリや体操などを通して参加することで学校アピールにもなりますし、施設スタッフ（介護さん）の方もいろいろと学べるので。

Ⅲ.自己点検・評価結果 (共通の評価基準モデル 2023 改訂版 Ver. 3.0)

1. 学校の教育目標
学生の自立を支援する
2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画
主体的な学習方法の導入
3. 評価項目の達成及び取組状況

対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日

評価：適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

自 己 点 検 ・ 評 価 項 目				ポリシー	【評価】	エビデンス	担当
1 教育理念・目標 3.4							
1	1	中項目	理念・目的・育成人材像（教育理念（建学の精神）・目的・目標、育成人材像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか）				
1	1	1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	A	3.5	学生便覧（建学理念、学則）、パンフレット、HP、定款	運営会議
1	1	2	学生・保証人（保護者）に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	A	3.5	パンフレット、HP、学生便覧（建学理念、学則）、新入生保護者説明会資料	
1	1	3	教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	B	3.0	学生便覧（建学理念、学則）、パンフレット、HP	
1	1	4	学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	B	3.5	パンフレット、HP	
1	2		教育の特色（社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか）				
1	2	1	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか（コース修了後に、学習者がそのコンピテンスのレベルを必要とする目的や状況が明確にされているか）	A	3.5	学生便覧、シラバス、臨床実習の手引き、パンフレット、HP、職業実践専門課程等の基本情報、臨床実習の手引き、実習要項、作業療法評価学（総合）臨床実習 実習到達表、学生自己評価表、実習状況チェック表、教育課程編成委員会報告書	教務
1	2	2	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか（学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか）	A	3.2	教育課程編成委員会議事録、学校関係者評価委員会議事録、HP、就職支援担当報告、臨床実習指導者会議、臨床実習指導者へのアンケート、講義アンケート、卒業時アンケート	
1	2	3	学校における職業教育の特色は明確になっているか	A	3.3	学生便覧、シラバス、パンフレット、HP、職業実践専門課程等の基本情報、学則別表2	
【課題】				【今後の改善方策】			
1-1： 便覧などでは明確に感動の共有となっているが、凜とした医療人が出てくるので混乱する。 1-1-2： 教育目標、各ポリシーを定めているが周知は不十分である。				1-1： カリキュラムツリーを都度見直し、育成人材像の共有を図る。 1-1： 凜とした医療人の立ち位置を明確にする。 1-1-2： ホームページ、学生便覧に記載する。 1-2-2： 学生募集に関わるデータ児童数・進路の傾向など、北陸3県のPT・OTの就労者数を数値化して残していく。			
【成果・特記事項】							

1-1-1、1-1-2・、1-1-3、1-1-4：
昨年度、教育理念アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーを整理したので、HP
など各媒体で公表する。

2 学校運営 2.9							
2	1	中項目	運営方針（運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか）				
2	1	1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	A	3.0	上長会議議事録、教員会議議事録、学科会議議事録、理事会議事録、理事会資料、各委員会目標・総括報告	運営会議
2	1	2	運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその理解の状況を確認しているか	B	2.6	教員会議議事録、学科会議議事録、チームス等での連絡記録、各委員会目標・総括報告	
2	2	中項目	事業計画（事業計画を作成し、執行しているか）				
2	2	1	運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか	A	3.1	理事会・評議員会の議事録、事業報告書、事業計画書	運営会議
2	2	2	学校の年間スケジュールはあるか	A	3.9	学事暦、教員スケジュール、学則、臨床実習の手引き、行事日程	
2	4	中項目	運営組織（運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか）				
2	4	1	寄附行為、理事会会議規則等（法人）、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会（法人）、学校の運営会議等が開催されているか	A	2.8	理事会・評議員会議事録、理事会会議規則、法人の理事・評議員会名簿（役職・氏名・所属先等の明示）、	事務局
2	4	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	A	2.1	起案書	
2	4	3	組織機能図があるか	A	1.6	組織図	
2	4	4	運営会議（教職員会議・教員会議等）が定期的開催されているか	B	3.6	上長会議議事録、教員会議議事録	
2	4	2 1	出退勤管理簿があるか	A	3.9	出退勤システム（KING OF TIME）、就業規則	
2	4	2 2	教職員の健康診断がされているか	A	3.9	健康診断の案内、請求書、就業規則、実施記録、教職員健康診断の案内（Teams 発信）、健康診断結果一覧	
2	4	4 1	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか	A	3.3	Teams での発信、業務委託請負契約書、点検結果報告書、施設設備保守・管理点検表、外部委託業者（クマ等）による作業実施記録、請求書	
2	5	中項目	教職員の評価・育成（教員及び職員の能力評価・能力向上に向けた取組みを行っているか）				
2	5	1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	A	2.2	教職員名簿	運営会議
2	5	2	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っているか、または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っているか	A	2.8	教職員名簿、研修計画研修会受講、運営会議議事録、ハローワーク募集要項	
2	5	3	授業評価の実施・評価体制はあるか	A	3.7	授業評価の様式、授業評価結果報告書、授業評価アンケート、自己評価委員会議事録	
2	5	4	教員の組織体制を整備しているか	A	2.8	組織図、各委員会目標・総括報告、委員会担当表	
2	5	2 1	職員の能力開発のための研修等が行われているか	A	2.8	研修計画・報告書、教務委員会目標・総括報告、研修報告書	

2	5	2 2	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組みが行われているか（研修等の効果を評価し、文書により記録しているか）	A	2.8	研修計画・報告書、教務委員会目標・総括報告、研修報告書、研修復命書		
2	5	2 3	教育の成果（学修結果）に基づく教員面接を実施しているか	B	1.5			
2	5	2 4	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させているか	B	3.3	研修計画・報告書、教員の非常勤務の起案、委嘱願文書、研修計画書、研修報告書		
2	5	2 5	教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れて、専門能力開発の計画を作成しているか（教職員研修計画の作成）	B	2.3	研修計画・報告書、研修計画書		
2	5	4 1	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	B	2.8	教育課程編成委員会議事録、臨床実習指導者会議議事録、シラバス、学科会議議事録		
2	6	中項目	人事・給与制度（人事・給与に関する制度を確立しているか）					
2	6	1	人事に関する制度を整備しているか	A	3.3	就業規則（第2章人事）	事務局	
2	6	2	給与に関する制度を整備しているか	A	3.7	給与規程、賃金規定、旅費規程、職能資格規程、退職給与規程		
2	6	3	昇給・昇格制度は文書化されているか	B	2.4	賃金規程（第2章正職員の賃金第2節基本給第6条（昇給））		
2	6	4	採用制度は文書化されているか	B	2.4	就業規則 第2章人事 第1節採用		
2	7	中項目	情報システム（情報システム化等による業務の効率化が図られているか）					
2	7	1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか（情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか）	A	3.0	Teamsの活用、HPでの各種・各方面への情報発信、組織図、全職員研修会	運営会議	
【課題】				【今後の改善方策】				
2-4-41：施設内に老朽化による不具合、雨漏り、壁紙破れ等がある。 2-5-1：教員養成講習会の受講が必要な職員がいる。 2-5-21：学校のFD・SDが示されていない。 2-5-22：研修内容の報告は出張対象についてのみ行われている状況。また、効果の評価も構築する必要がある。 2-5-23：講義評価等に基づき教員面談を行う。 2-5-41：講義内容に関する非常勤講師との情報交換の記録をどのように行うか。				2-4-41：施設内で問題のある箇所の調査、修理を行う。 2-5-1：対象教員は専任教員養成講習会を受講していく。 2-5-21：学校のFD・SDを策定・開示する。 2-5-22：研修内容の報告範囲・方法の検討。また、効果の評価方法を検討。 2-5-23：講義評価等に基づき教員面談を行う。 2-5-41：講義内容に関する非常勤講師との情報交換の記録方法の検討を行う。 2-7-1：業務効率化，教育活動の効果を可視化していく。				
【成果・特記事項】								
2-7-1：チームス導入後は伝達が円滑になっている。 2-7-1：チームスの運用方法を見直した。引き続き実施していく。								

3 教育活動 3.4							
3	1	中項目	目標の設定（教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか）				
3	1	1	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）を明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、	A	3.4	学生便覧、パンフレット、HP、教育課程編成委員会議事録、カリキュラム・ポリシー	教務

			社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか				
3	1	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A	3.7	学生便覧、シラバス、HP、教育課程編成委員会議事録、パンフレット	
3	1	3	教育目的および育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	B	3.2	学生便覧、HP、学校関係者評価委員会議事録、ディプロマ・ポリシー、学生便覧、シラバス、教育課程編成委員会議事録	
3	2	中項目	教育方法・評価等（各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか）				
3	2	1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A	3.5	シラバス、HP、職業実践専門課程等の基本情報、カリキュラムツリー、カリキュラムマップ	教務
3	2	2	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	A	3.8	シラバス、臨床実習の手引き	
3	2	3	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	B	3.5	シラバス	
3	2	4	シラバスあるいは講義要項（作成されていればコマシラバス）などが事前に学生に示され（あるいはホームページなどで公開されて）、授業で有効活用されているか	B	3.7	シラバス、HP、チームス、講義フォルダ、講義概要、学生便覧、学生便覧	
3	2	2 1	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか（教育内容およびその評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か）	A	3.5	学生便覧、シラバス、講義資料、学事暦、授業評価アンケート、成績管理システム	
3	2	2 2	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	B	2.2	授業評価結果、学科会議議事録	
3	2	2 3	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか（学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか）	B	3.5	授業評価結果、卒業時アンケート	
3	2	2 4	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	B	2.8	授業評価結果、シラバス、学科会議議事録	
3	2	4 1	カリキュラム作成の際、複数のメンバーによるカリキュラム作成やカリキュラム作成委員会等の形で、作成したカリキュラムの検証が行われているか	B	3.1	組織図、教員会議議事録、学科会議議事録、教員組織表、学科会議議事録	
3	2	4 2	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか	B	3	教育課程編成委員会議事録、学科会議議事録	
3	2	8 1	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	A	3.1	教育課程編成委員会議事録、臨床実習指導者会議議事録、シラバス、臨床実習の手引き	
3	2	8 2	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか	B	3.8	臨床実習指導者会議議事録、シラバス、臨床実習の手引き、教育課程編成委員会議事録、指導者会議記録、カリキュラムツリー	
3	2	8 3	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っているか	B	3.6	教育課程編成委員会議事録、臨床実習指導者会議議事録、シラバス、臨床実習の手引き、授業日程・進捗表、職業実践専門課程等の基本情報、自己点検・評価報告書、学校関係者評価報告書、学科会議議事録、臨床実習の各記録、実習協定書	
3	2	8 4	企業・施設等での職場実習（インターンシップ含む）があるか	B	3.9	実習受け入れ承諾書、臨床実習指導者会議議事録、シラバス、臨床実習の手引き、学生便覧、臨床実	

						習の手引き、実習受託書、実習協 定書	
3	3	中 項 目	成績評価・単位認定等（成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか）				
3	3	1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確 になっているか	A	3.6	学生便覧、HP、職業実践専門課程 の基本情報、成績管理システム、 学生規則、判定会議議事録	教務
3	3	2	学生や保証人（保護者）に対し、成績評価・単位認 定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示され ているか	B	3.8	学生便覧、HP、保護者説明会資 料、職業実践専門課程等の基本情 報、成績表の送付、学生規則、シ ラバス	
3	3	3	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進 級・卒業判定を行っているか	B	3.7	学生便覧、成績・進級・卒業判定 会議議事録、HP、成績管理シス テム、学科会議議事録、成績評価規 程、シラバス	
3	3	4	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企 業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っ ているか	B	3.3	臨床実習指導者会議議事録、臨床 実習の手引き、学生便覧、臨床実 習の成績表、情意領域確認表、シ ラバス、学生規則、教育課程編成 委員会報告書、作業療法学科臨床 実習の手引き、実習到達表	
3	4	中 項 目	資格・免許取得の指導体制（資格・免許取得のための指導体制があるか）				
3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中 での体系的な位置づけはあるか（発行する修了証明 書の種類及び内容）	A	3.8	シラバス、パンフレット、臨床実 習の手引き、時間割、成績証明 書、卒表証明書、カリキュラムツ リー学習、カリキュラムマップ	教務
3	5	中 項 目	キャリア教育等（基礎的・汎用的能力（①人間関係形成・社会形成能力、②自己理解・自己管理能力、 ③課題対応能力、④キャリアプランニング能力）を身につけるための取組が実施されているか）				
3	5	1	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立 に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリ ア発達を促しているか	B	3.7	シラバス、臨床実習の手引き、実 習受け入れ承諾書、教育課程編成 委員会議事録、時間割、キャリア デザイン学・基礎セミナーの講義 資料	教務
3	5	2 1	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・ 職業教育の取組が行われているか。	A	2.6	中学・高校からの講義依頼、シラ バス、高校ガイダンス等の参加、 体験授業への参加実績	
【課 題】				【今後の改善方策】			
3-3-3、3-2-22： 他教員の講義に入る機会がなく、定期的な観察は不足してい る。 3-2-24：評価結果の外部講師、教員へのフィードバックは十分ではな い。また学科会議において授業内容に関する。会議は行っ ているが、評価結果の活用した授業改善方法については個別の 裁量となっている。 3-2-3： コマシラバスに必要な内容について検討する。				3-2-3： コマシラバスの作成を進める。 3-2-23： 授業評価表の改善が必要。 3-2-22： 外部者に講義を拝見してもらい意見 をいただく。 3-2-22： 3-2-24： 授業評価結果を基に、フィ ードバックの実施・活用方法を構築す る。学科単位で検討する機会を設ける 必要がある。 3-3-3、3-2-22、3-2-24： 経験が浅い外部講師の参観、授業評価 をフィードバックする機会を作る。			
【成果・特記事項】							
3-1-1：3-1-2：3-1-3： 昨年度、教育理念アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーを整理した ので、HP など各媒体で公表する。 3-2-1：国試合格率は両学科ともに全国平均を上回る結果となった。 3-3-2：学生便覧やシラバスを Web 版で閲覧が可能であり、学生及び保護者と共有が出来ている。また、担任から補 足としての説明を入学時と学期の開始時に説明をしている。							

3-5-1：基礎セミナー等の社会人基礎力を育成している科目があり、キャリア発達を促している。

4 学修成果・教育成果 3.7						
4	1	中項目	学修成果（各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか）			
4	1	1	コース全体を通して、及びコースの修了時に、学習者の習熟状況をアセスメントしているか	A	3.7	成績表、成績・卒業判定会議議事録、国家試験結果、卒業試験、成績管理システム、定期試験、実習前後実技試験、成績一覧 教務
4	1	2	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか（測定する知識、スキル及び能力、測定の基準、アセスメントの方法は明確か）	B	3.4	学生便覧、シラバス、成績管理システム、定期試験、実習前後実技試験、卒業試験、ルーブリック
4	2	中項目	就職率（就職率の向上が図られているか）			
4	2	1	就職率の向上が図られているか（結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか）	A	3.9	就職ガイダンス資料、保護者説明会資料、就職活動の手引き、採用試験の記録、就職支援委員会総括・目標、就職実績報告書、就職委員の年度末報告、就職活動のしおり 教務
4	2	2	学生の就職に関する目標が、教職員に共有されているか	A	3.7	各委員会目標・総括報告、就職支援委員会総括・目標、就職希望用紙学生アンケート、学科会議議事録、教員全体会議資料
4	2	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか	B	3.9	見学・内定記録、学生が作成した見学・採用試験報告書、採用試験内容のまとめ、就職活動報告書
4	2	4	対外部に向けた就職実績を公表しているか（パンフレット・HP等）	B	3.9	パンフレット、HP、保護者説明会
4	3	中項目	資格・免許の取得率（資格・免許取得率の向上が図られているか）			
4	3	1	資格取得率の向上が図られているか（目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか）	A	3.9	HP、国試委員会資料、シラバス、パンフレット、教員全体会議資料、国家試験結果の履歴 教務
4	3	2	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか	A	3.8	各委員会目標・総括報告会議資料、国家試験対策委員会目標、教員全体会議資料
4	3	3	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	3.8	各委員会目標・総括報告会議資料、国家試験対策委員会目標、教職員全体会議資料
4	3	4	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか	B	3.8	各委員会目標・総括報告、パンフレット、HP、理学療法学科会議議事録、教員会議資料委員会目標資料、国試対策委員の年度末報告
4	3	5	資格・検定・コンペの結果（合格者数・合格率）を公表しているか	B	3.9	パンフレット、HP、オープンキャンパス資料、保護者説明会資料
4	4	中項目	社会的評価（卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか）			
4	4	1	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか（卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか）	A	2.3	KRA 食堂いつでもおいで屋第2回活動報告、卒業生調査・企業アンケート、企業等訪問記録、就職担当者訪問記録等 教務
【課題】				【今後の改善方策】		
4-4-1：卒業生の就職状況が把握できていない。				4-4-1：卒業生の定期的な調査を行う。		

4-4-1：卒業生の活躍及び評価を把握していない。実習などで連携している施設からの情報提供はあるものの、関係性の少ない施設からの情報は不足している。	4-4-1：実習地訪問等に合わせ、卒業生の状況を調査・記録する。
【成果・特記事項】	
4-3-1：PT・OT 学科共に全国平均を上回る国家試験合格率を達成することができた。	
4-3-1：1・2年次から課題選定・計画的に模試を実施し知識の定着を図った。	
4-3-5：就職率や資格取得率をパンフレットやオープンキャンパス等で公表している。	

5 学生支援 3.1						
5	1	中項目	修学支援（学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか）			
5	1	1	学生への修学支援を適切に行っているか	A	3.8	奨学金案内、個別面談記録（担任、臨床心理士）、office の利用、学科会議議事録 教務
5	2	中項目	就職等進路（就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか）			
5	2	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか（またそれはきちんと学生や保証人（保護者に周知されているか）	A	3.8	組織図、各委員会目標・総括報告、就職活動の手引き、保護者説明会記録・資料、就職支援委員会、就職ガイダンス資料、キャリアデザイン学資料、就職ガイダンス、ハローワークからの講義、学生便覧、就職オリエンテーション資料、パンフレット、就職活動のしおり、就職活動報告書、就職試験結果報告書まとめ、学科会議議事録 教務
5	3	中項目	学生相談（学生相談に関する体制は整備されているか）			
5	3	1	学生相談に関する体制は整備されているか（相談窓口が設置されているか）	A	3.6	面談記録、臨床心理士による面談記録、学生支援室記録、学生相談窓口申し込みフォーム、ハラスメント規定、学生便覧 教務
5	3	2	学生の面談・相談記録があるか	B	3.9	面談記録、臨床心理士による面談記録、学生支援室記録、担任による面談記録、学科会議議事録
5	4	中項目	学生生活（学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか）			
5	4	1	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	A	3.4	パンフレット、募集要項、奨学金説明会資料 運営会議
5	4	2 1	学生の健康管理を担う組織体制はあるか（学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか）	A	3.6	健康診断案内、抗体検査記録、年間行事予定表
5	4	4 1	課外活動に対する支援体制は整備されているか	A	3.0	サークル活動案内、課外活動記録、ボランティア案内、金沢市との提携文書
5	5	中項目	中途退学への対応（退学率の低減が図られているか）			
5	5	1	退学率の低減が図られているか（受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか）	A	2.8	学生支援室記録、保護者説明会記録、学生面談記録、教員会議議事録、学科会議議事録 教務
5	5	2	退学率の目標を設定しているか	A	2.3	事業計画書
5	5	3	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	2.1	面談記録、学生支援室記録、教員会議議事録、学科会議議事録、学科会議資料、事業計画書

5	5	4	退学者数を公表しているか	B	2.9	HP、職業実践専門課程等の基本情報	
5	6	中項目	保証人（保護者）との連携（保証人との連携体制を構築しているか）				
5	6	1	保証人（保護者）と適切に連携しているか（保証人のニーズを把握しているか）	A	3.2	学生面談記録、保護者面談記録、保護者説明会記録・資料、保護者宛成績等発送記録	教務
5	6	2	保証人（保護者）との計画的な相談会・面談を行っているか	B	3.0	保護者説明会記録、学生面談記録、個別面談記録、学科会議議事録、保護者面談案内	
5	7	中項目	卒業生・社会人支援（卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか）				
5	7	1	卒業生への支援体制を整備しているか（再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか）	B	2.8	同窓会会則、学科会議議事録	教務
5	7	2 1	卒業生への卒業教育等の支援体制はあるか（卒業生への講習・研修を行っているか）	B	2.0	同窓会案内（オープンチャット）	
5	7	4 1	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	A	3.0	パンフレット、HP、募集要項	
【課題】					【今後の改善方策】		
5-4-41：サークルの動きが明確ではない。 5-5-2、5-5-3： 退学率は公表されていますが、退学率の目標の共有は不十分かと思います。 5-7-1、5-7-21： 卒業生から相談に対し個別対応はあるが、学校組織として全体への定期的なフォローアップ体制はできていないと感じる。近年、卒業生に対する研修会・講習会などを開催できていない。卒後はどこまで教育的支援を行うのかやや不透明であり、学科レベルでの検討も必要と思われます。					5-4-41：顧問などが書面などで活動日等を示す。 5-5-3：退学率・対応方針の目標・計画を明示し、改善策を検討する。 5-7-1：卒業生に対して定期的な研修機会をつくる。 5-7-1、5-7-21： 同窓会組織と学校側が相互に協力していく必要がある。		
【成果・特記事項】							
5-4-21：カウンセラー（臨床心理士）を配置している。情報を提供頂くことで、学生との面談時に役立てている。 2024年度、作業療法学科の退学者、留年者無し。 5-5-1：新コースの設置、分納制度の設立、新図書館の設置会議での報告や目標について共有されている。							

6 教育環境 3.2							
6	1	中項目	施設・設備等（施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか）				
6	1	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか（講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか）	A	3.7	学校設置認可申請書、時間割、講義記録、各種申請書類（図面）	運営会議
6	1	2	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	A	3.9	図書台帳、財産目録	
6	1	3	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	A	3.6	備品台帳、各委員会目標・総括報告	
6	1	2 1	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか	B	2.7	学生便覧、就労規則、学生規則、掲示物	
6	1	2 2	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか	B	2.5		
6	2	中項目	学外実習、インターンシップ等（校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備しているか）				
6	2	1	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	A	3.7	実習施設一覧、臨床実習指導者会議開催要項、臨床実習指導者会議議事録、臨床実習の手引き、海外研修の案内・資料、シラバス、HP	教務

6	2	2	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備されているか。	B	3.6	臨床実習の手引き、シラバス、学生便覧、学生便覧	
6	3	中項目	防災・安全管理（防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか）				
6	3	1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	A	2.6	危機管理マニュアル	運営 会議
6	3	2	防災・防犯設備（非常灯・消火器・警備システム等）が整備・点検されているか	A	3.4	消防用設備点検報告書、警備業務請負契約書、各種点検実施記録	
6	3	2 1	定期的に防災訓練を実施しているか	A	3.0	消防訓練実施要項	
6	3	4 1	学校における安全管理の整備を行っているか	B	2.9	各種設備の定期点検記録、危機管理マニュアル	
【課題】					【今後の改善方策】		
6-1-12：分煙・禁煙について掲示されていない。 6-2-1：学外実習施設の教育体制の整備状態を把握できているかは不明確。 6-2-2：適宜見直し、修正が必要。 6-3-1：気象・災害等の際の休講等のガイドラインを明確にする。					6-1-12：分煙・禁煙について掲示を行う。 6-3-1：気象・災害等の際の休講等のガイドライン策定。		
6-2-1：実習施設の確保・海外研修を継続して行えている。 6-3-21：消防の避難訓練は実施している							

7 学生の受入れ募集 3.5							
7	1	中項目	学生募集活動（学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか）				
7	1	1	学生募集活動は、適正に行われているか	A	3.4	募集要項、パンフレット、HP、オープンキャンパス計画・案内、学校ガイダンス等参加計画、入試課活動計画	運営会議
7	1	2	入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を策定し、学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表しているか	A	2.8	アドミッション・ポリシー、パンフレット、募集要項	
7	1	3	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	A	3.7	パンフレット、HP	
7	1	4	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか	A	3.7	募集要項、パンフレット、HP、学校ガイダンス等参加計画、入試課活動計画、選抜判定会議議事録	
7	1	2 1	入学に関する問い合わせ等に対応できる体制ができているか	A	3.5	組織図、HP	
7	1	2 2	学校説明会等による情報提供（育成人材像、評価手段及びその基準、目指す資格・検定・コンペ、学費・教材費等の情報）を行っているか	A	3.7	募集要項、パンフレット、HP、学校ガイダンス等説明用資料、オープンキャンパス計画・案内、オープンキャンパス説明用資料、オープンキャンパス実施要項	
7	1	2 3	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか	B	3.7	入学前課題、仮入学式などの事前オリエンテーション委員会担当表、入学前学習教材	
7	2	中項目	入学選考（入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか）				
7	2	1	学校案内等には選抜方法が明示されているか（入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか）	A	3.5	募集要項、パンフレット、HP	運営会議
7	2	2	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学者選抜を行っているか	A	3.5	募集要項、選抜の実施計画・議事録、判定会議資料	
7	3	中項目	学納金（学納金は妥当なものとなっているか）				

7	3	1	学納金は妥当なものとなっているか	A	3.3	学生便覧、募集要項、決算報告書、財産目録	運営 会議
7	3	2	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	A	3.2	学生便覧、募集要項、パンフレット、HP、保護者説明会資料	
7	3	4	入学辞退者への授業料返還について文部科学省通知（18 文科高第 536 号）に基づいて適切に対応しているか	B	3.7	学生便覧、募集要項、上長会議議事録	
【課 題】					【今後の改善方策】		
7-1-2：アドミッション・ポリシーは定めているが、周知が不十分である。					7-1-2：Web サイトで公開していく。 7-1-2：アドミッション・ポリシーを HP、学生便覧などに掲載する。		
【成果・特記事項】							
特になし							

8 教育の内部質保証システム 3.1							
8	1	中項目	関係法令、設置基準等の遵守（法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか）				
8	1	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A	3.7	指定規則に対する各種設置記録、学生便覧、シラバス、講義記録、進捗表、議事録、設置等に関する書類	運営 会議
8	1	2	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	A	3.0	組織図、指定規則に対する各種設置記録、就労規則、組織図	
8	1	3	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか	B	3.2	就労規則、ハラスメント規程、情報セキュリティハンドブック、情報管理ハンドブック、危機管理マニュアル	
8	2	中項目	個人情報保護（個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか）				
8	2	1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	A	2.5	就業規則（第4章服務規律 第72条（秘密情報管理義務））、情報セキュリティハンドブック	事務局
8	2	2	個人情報保護規程が文書化されているか	A	2.1	就業規則、ホームページのプライバシーポリシー	
8	2	3	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができているか	B	2.1	就業規則	
8	3	中項目	学校評価（自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか）				
8	3	1	学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	A	3.5	自己点検・評価報告書、各委員会目標・総括報告、自己点検・評価委員会議事録、学校関係者委員会議事録	運営 会議
8	3	2	自己点検・評価報告書にまとめているか（自己点検・評価報告書があるか）	A	3.7	自己点検・評価報告書、自己点検・評価委員会議事録、学校関係者委員会議事録	
8	3	3	自己点検・評価の組織があるか	B	3.5	自己点検・評価報告書、組織図、学校評価規程、自己点検・評価委員会議事録自己評価委員会議事録、学校関係者委員会議事録組織図	
8	3	2 1	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取組みを行っているか	B	3.5	組織図、学校評価規程、学校関係者評価委員会議事録、自己点検・	

						評価委員会議事録、学校評価報告書		
8	4	中項目	改革・改善（各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか）					
8	4	1	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか	A	3.2	教員会議議事録、Teamsでの発信記録、教務委員会議事録	運営会議	
8	4	2	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	A	2.2			
8	4	3	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	2.8	各委員会目標・総括報告、各種会議議事録、自己点検・評価報告書		
8	4	4	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	2.7	各委員会目標・総括報告、各種会議議事録、自己点検・評価報告書		
8	4	5	学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	2.8	各委員会目標・総括報告、各種会議議事録、自己点検・評価報告書		
8	4	6	学校関係者評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	2.7	各委員会目標・総括報告、各種会議議事録、自己点検・評価報告書		
8	5	中項目	教育情報の公開（教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか）					
8	5	1	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	A	3.7	HP	運営会議	
8	5	2 1	自己評価結果を公開しているか	A	3.7	HP、自己評価委員会議事録		
8	5	2 2	学校関係者評価結果を公表しているか	B	3.7	HP、自己評価委員会議事録		
【課題】					【今後の改善方策】			
8-2-1、8-2-3： 個人情報の所管部署が不明確である。 8-4-3、8-4-5、8-4-6： 委員会や教務学科内：レベルでの総括、改善計画のミーティングは行っているが、運営全体レベルでの総括が不十分である。					8-4-3、8-4-4、8-4-5、8-4-6： 自己点検・評価の結果と改善策の対応を別途記録として残す。 8-4-3、8-4-5、8-4-6： 議事録を照合し、計画書等へ反映していく。 8-2-1、8-2-3： 個人情報の所管部署を周知する。年に1度は職員もオンデマンド等の研修を受講したりするとよいと思う。			
【成果・特記事項】								
8-1-3：ハラスメント防止規定を作成した。								

9 財務 3.3							
9	1	中項目	財務基盤（学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか）				
9	1	1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	A	3.0	理事会議事録、評議会議事録、決算報告書、財産目録、収支決算書、財務諸表財産目録、貸借対照表、事業報告書	運営会議
9	1	2	年度予算・中期計画が策定されているか	A	3.2	理事会議事録、評議会議事録、決算報告書、収支決算書、財務諸表、全体予算書、中期計画書	
9	2	中項目	予算・収支計画（予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか）				
9	2	1	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A	3.3	理事会議事録、評議会議事録、決算報告書、収支決算書、予算書予算書	運営会議
9	2	2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	B	3.3	理事会議事録、評議会議事録、決算報告書、収支計画書、収支決算書、事業報告書	
9	3	中項目	監査（財務について会計監査が適正におこなわれているか）				

9	3	1	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	A	2.8	会計監査報告書	事務局
9	4	中項目	財務情報の公開（私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか）				
9	4	1	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	A	3.6	財務諸表、財産目録、事業報告書	事務局
9	4	2	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取り組んでいるか	B	3.7	HP	
【課 題】					【今後の改善方策】		
9-4-1：最新の情報が公開されていない2023年度以降滞っている。					9-4-1：不要な過去分は削除して最新の情報を掲載する。また公開作業をする時期を年次の作業として決定し社内にも周知する。		
【成果・特記事項】							
特になし							

10		社会貢献・地域貢献		3.1			
10	1	中項目	社会貢献・地域貢献（学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか）				
10	1	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A	3.0	施設借用願、いつでもおいでや報告書、各種会議議事録	運営会議
10	1	2	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	A	3.2	公共職業訓練等受託契約書、金沢市提携書、各議事録、公共職業訓練等受託契約書	
10	2	中項目	ボランティア活動（学生のボランティア活動を奨励・支援しているか）				
10	2	1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	A	3.2	いつでもおいでや報告書、各種ボランティア案内・募集サークル活動報告、各議事録、パンフレット	運営会議
【課題】					【今後の改善方策】		
10-2-1：様々なボランティア活動を奨励、実施しているが、支援体制の資料が無い。					10-2-1：支援体制を整理し、エビデンスを示せるようにする。		
【成果・特記事項】							
10-1-1：サッカーチームへのトレーニング指導に教員が携わり、学校施設も提供している。							
10-2-1：こども食堂の開催（複数回）							